

感動の臨川フェスティバル

校長 河口尚志

臨川フェスティバルが終わりました。

どの学年もとても素晴らしい歌声と演奏を聴かせてくれました。1人ではできない合唱と合奏を、学年で気持ちを1つにして頑張って練習をし、その成果が十分に表れるパフォーマンスでした。



笑顔が伝わる元気な歌声や高く澄んだ歌声、リコーダーの透明感のある音色の美しさ、リズムに合った打楽器の心地よい響き、金管楽器の奏でる迫力ある音などが印象に残っています。

曲や曲想のバリエーションあり、身体表現あり、衣装の工夫ありなど、とてもすばらしかったです。見る人にたくさんの感動を与えてくれました。



さて、渋谷区立小中学校では、今年度、小学校3年生以上の「総合的な学習の時間」を「シブヤ未来科」として学習をしています。身近な地域の学習や企業等からの学びを通して、渋谷区への愛着やプライドを育むとともに、渋谷の未来を創っていく1人としての自覚を育てることがねらいです。

正解のない時代に入り、常に適切なものを求めなければならないこと、そのためには多様な人と力を合わせて協力し、ベストな選択をし続けることがこれからの社会では必然になってきます。

それはまさに「探究」であり、この活動を通してこそ、社会で発揮できる資質・能力が育っていくのです。自分で問題を解決していく過程でこそ、論理的に考えたり、多様な人とコミュニケーションを図り、分りやすく伝えていったりすることを存分に発揮し続ける状況が生まれるのです。

11月号でもお知らせした通り、地域の企業の方々をお呼びしたり、地域を巡ったり、区役所の方にお話を聞いたりしながら、自分たちの思いを明らかにし、行動や実践に結び付けようと、様々な活動に取り組んでいます。

次年度、渋谷区ではこのシブヤ未来科をさらに発展させ、各教科の時数の1割ほどをこの未来科にあてながら学習を進めていく予定です。子供たちが自ら考え、判断し、行動していく学びをさらに充実させていきます。

※渋谷区教育委員会からの資料もあわせてご覧ください。
(H&Sで発信します。)

